

本の紹介

『子ども会と地方自治－地域の挑戦、行政の支援』

著者：三浦哲司（名古屋市立大学大学院准教授）

過度の保護者負担と少子化で加速する子ども会離れは止まるか？

昨今、子ども・子育て支援政策が注目を集める一方で、年々、衰退している子ども組織のひとつに、子ども会があります。ただ、今日でもなお、全国の自治体の多くでは子ども会が存在し、なかには創意工夫を重ねながら活動している事例もみられます。

本書のなかでは、社会環境が大きく変化した、令和の時代の子ども会について、自治会・町内会との組織的な特徴の比較も交えながら、全体像を示しています。また、自治会・町内会の範囲で組織される単位子ども会、小学校区の範囲で組織される学区子ども会など、さまざまな子ども会の実態について、具体的な事例を基に克明に描いています。さらに、子ども会として取り組んだワークショップや各種の運営改善の実践、自治体行政による支援の動向も詳細に検討しています。

本書は、子ども会の運営と活動のあり方に問題意識をもち、長年の慣例を大胆に見直し、「令和型の子ども会」を追求する子ども会関係者の方々にとって、必読の内容です。子ども会の運営と活動で悩みを抱えている育成者、子ども会への支援で試行錯誤している行政担当者はもちろん、今後子ども会との連携を考えている自治会・町内会の関係者にも、ぜひ一読をお勧めしたい一冊です。



■本の購入方法

『子ども会と地方自治－地域の挑戦、行政の支援』（刊行：明石書店）

- ・各地の書店での購入、注文
- ・Amazonなどのオンライン書店での購入
- ・電子書籍版はkindleにて購入可能